

第2回本庄市中学生まちづくり議会



森田まどか議長
(本庄南中2年)



三友杏奈副議長
(児玉中2年)

将来の本庄市を担う中学生に、市政への関心と理解を深めてもらうことを目的に毎年度開催している「中学生まちづくり議会」。市内4中学校より30人が出席し、1月29日に市議会議場で開催されました。議会は、森田まどか議長(本庄南中)の開会宣言で始まり、12人の中学生議員による一般質問が行われました。

- 私たちの意見を市政に -



《まちづくり議会議員名簿》

【児玉中学校】

奥原美知瑠	今井 蘭	根岸 成剛	坂本 綾萌	田島 敦朗	滝澤 正啓	三友 杏奈
1年	1年	1年	2年	2年	2年	2年

(敬称略)

【本庄南中学校】

小暮 将之	松原 早希	原田 優希	鈴木 拓美	島田 悠平	川村 凌	小林 奏	森田まどか
2年	2年	2年	2年	2年	2年	2年	2年

【本庄西中学校】

武藤 郁弥	國松祐大朗	山内 聡	三井 風光	五十嵐雪乃	栗田 大地	橋本 康太
1年	1年	1年	2年	2年	2年	2年

【本庄東中学校】

小林 裕貴	福島 卓弥	細川 佳輝	小林咲里奈	斉藤 早紀	菅野 龍	栗原 正実	塚田 桂太
1年	1年	1年	2年	2年	2年	2年	2年

質問 「ガードレール」についてですが、地元自治会からの要望に基づいて現地を確認し、また、通学路や交通量などを考えて、必要な場所に設置をしています。「信号機」については、地元自治会・小



小林 奏議員
(本庄南中2年)

質問 私たち児童・生徒が安心して登下校できる安全なまちにするために、ガードレール信号機の設置や街灯を増やすことはできないでしょうか。回答 「ガードレール」についてですが、地元自治会からの要望に基づいて現地を確認し、また、通学路や交通量などを考えて、必要な場所に設置をしています。「信号機」については、地元自治会・小

質問 現在、本庄早稲田駅周辺では、土地区画整理というまちづくりの事業を平成18年9月から始めています。市では、この地域を本庄市の新しい「顔」として、恵まれた交通条件を生かして北開



橋本康太議員
(本庄西中2年)

東の拠点に成長させ、市の飛躍の礎となるよう重点的に取り組みを行っています。できる限りこの新しいまちに多くの人々を呼び寄せ、住み続けたいと思えるような住宅地、そして、地域経済に活力と潤いをもたらす商業施設や企業が集まる地域をつくり、自然や歴史を大切にしつつ、本庄早稲田駅や早稲田リサーチパークなど、他の地域にはない特徴を生かしながら、次の世代に引き継がれていく、「持続可能なまちづくり」を実現したいと考えています。



議員 滝澤正啓
(児玉中2年)

質問 環境問題対策に、本市ではどのような取り組みがありますか。また、今後学校に関わる取り組みはどのような計画がありますか。

回答 市では現在、今後10年間を目標とした「本市環境基本計画」を策定しています。

また、温室効果ガスについて市では、今年の4月から平成24年度までの5年間で計画期間とした「本市地球温暖化対策実行計画」を策定しています。このほか、小山川や



議員 塚田桂太
(本庄東中2年)

質問 本市には、現在いくらの借金がありますか。また、その借金に対する返済などの方策はどうなっていますか。
回答 市では、道路の新設・改良や学校の校舎を新しく建設するなどというときには、この資金を国などから借り入れます。

女堀川などの河川水質検査やダイオキシン類の測定などを定期的に実施し、結果を「本市の環境」として公表しています。

学校に関わる取り組みの計画についてですが、「本市環境マネジメントシステム」を策定して、今年の4月から開始する予定で、中学校も対象施設となります。みなさんが参加できる地球温暖化対策としては、「エコライフDAY」への参加があります。

本市の恵み豊かな環境が将来にわたって維持されるように、みなさんといっしょに環境にやさしい社会をつくり上げていきたいと思います。

借金の残高は、普通会計、公共下水道事業特別会計、集落排水事業特別会計、水道事業会計を合わせると386億円という額になります。元金や利子の返済額は、平成19年度では22億7,845万4千円です。

今回、国では金利5%以上の地方債の負担を軽減するため、「公的資金の保証金免除繰上償還」という制度を設けました。市でも、この制度を利用して今後の負担を軽く



議員 栗田大地
(本庄西中2年)

質問 日本は世界的にも学力レベルが年々低下し、重大な問題に陥っていると思います。市ではこの問題をどのように考えていますか。

回答 OECD（経済協力開発機構）が行った学習達成度調査の結果をみると、「読解力」、「学習に対する意欲や態度」などに課題があると指摘されています。また、その他の調査でも応用や活用に課題があるといわれています。これからの日本の将来を考え

ようと繰上償還を予定しているところですが、なお、現在よりも低い利率で借り換えることにより、全体として10億7,000万円の利子が軽減できると見込んでいます。



市長 吉田吉彦 答弁する

ると大変心配なところであり、市としても何らかの対策が必要であると考えています。学力向上への具体的な対策については、「読み書き」と「計算」の基礎を身に付ける取り組みを行っています。また、学力の向上は、生活習慣とも密接な関係があります。勉強だけをすればよいわけではなく、「規律ある態度」をしっかりと身に付けることも大切です。

今後、「学力」、「規律ある態度」、「体力」の3つの育成を図る「教育に関する3つの達成目標」への取り組みをいっそう進め、学力向上を図っていきたくと考えています。



議員 島田悠平
(本庄南中2年)

質問 本庄南中では、地域の公園清掃や介護福祉施設訪問ユニセフの街頭募金活動を行っています。市内の小・中学校全体で行うボランティア活動の企画はありますか。

回答 本庄南中では、さまざまなボランティア活動をさすばらしいことと思います。

市内全域のボランティア活動の支援を行っている「ボランティアセンター」が、市の社会福祉協議会に置かれています。ボランティア団体は現在52あり、個人登録者を含めると約4千人が何らかの活動に取り組んでいます。また、市では、市立の全小・中学校を「福祉教育推進校」に指定し、本庄南中をはじめとして、他の小・中学校でも、福祉活動や多様なボランティア活動の取り組みが活発に行われています。また、市内全体を対象とした取り組みとしては、「ボランティア体験プログラム事業」があります。また、春・夏には、小・中学生を対象とした「ボランティア

スクール」を開催しています。が、毎年参加している児童・生徒も多く、スクールに参加した高校生以上の学生が、ボランティアグループを結成して、「ボランティアスクール」の企画や運営などを担当しています。

みなさんもこうしたボランティア活動に積極的に参加し、地域ボランティアのリーダーを目指してがんばっていただきたいと思っています。

暫時休憩